

平成29年度

公益財団法人 愛知県シルバーサービス振興会

## 事業計画書

### I 環境認識

高齢者の人口は益々増加傾向にあり、団塊の世代が75歳以上になる2025年には、3,657万人、2042年には3,878万人に達するといわれています。

こうした中で、高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる社会を構築していくことが急務となっています。

また、平成27年度の介護保険制度の改正により、地域包括ケアシステムの構築を推進するため、地域支援事業が国から市町村へ移行されるのに伴い、高齢者の社会参加と地域における支えあい体制づくりの推進や人材育成、協議体の設置等の仕組みづくりの構築が緊急課題となっています。

また一方で、一般企業においては、働き盛りの労働者が親の介護のため退職せざるを得ないという介護離職が問題となっております。

当振興会では、これらのことを踏まえて、高齢者が元気で生き生きと暮らすことへの支援、介護が必要な高齢者を支える介護職の方々のレベルアップ、介護離職防止へのサポート等、高齢者に纏わる支援を民間の立場から一層高めていきたいと考えております。

また、今年度はシルバーサービス振興組織であるシルバーサービス振興連絡協議会の全国研修会の当地開催にもあたっているため、主催者としてより一層他の都道府県との情勢交換、連携を強めていきたい。

事業の実施にあたっては会員や関係機関・団体との協同・連携を強化しながら公益事業の一層の充実に努めるとともに、変化に対応して適切且つ効率的な事業運営を行っていくよう努めます。

以上の状況を踏まえ、本年度は次の基本的な柱を軸に事業計画を作成しました。

### II 重点施策

#### 1. 公益事業の推進

平成29年度は、当振興会が公益財団法人として移行後6年目の年にあたり、公益法人に相応しい事業を着実に推進するとともに、一層充実したものに改革していくこととする。

##### (1) 高齢者福祉増進事業の展開〔公益目的事業―1〕

高齢者が、住み慣れた家庭や地域で、生き生きとして充実した生活を送るためには、健康づくりや社会参加を積極的に促進していく必要があります。

高齢者は、全体としてみると健康で活動的であり、また、生き方や考え方も多様化している。

こうした状況を踏まえ、長い高齢期をより活動的に過ごすことができるよう、学習や趣味の活動の機会の拡充を図っていく必要がある。

当振興会では、基本である仲間（マルコールド倶楽部会員）の増強に努めながら、

高齢者の生きがいと健康づくり等の事業を拡大し、併せて高齢者の色々な質問・相談に対応できる体制を一層充実していくことにより、生涯現役社会の実現に向けた明るく活力ある長寿社会づくりの推進に寄与していくこととする。

特に今年度は新しい事業として、社会問題化している介護離職問題への関与・支援をしていくこととする。

## (2) 福祉向上支援事業の展開〔公益目的事業一2〕

介護従事者や介護関係事業者等を対象とした講座・研修会等の開催により、高齢者や要介護者等への保健・医療・福祉サービス等の質の向上に寄与していきます。

基本的には、従来どおり愛知県指定の研修並びに当振興会独自の研修事業を推進していくこととする。

愛知県指定の法定研修では、昨年度の大幅な研修制度改定による影響が本格化するため、昨年度組織化した推進委員会を中心にしてスムーズな運営を図り、受講者が一層充実した受講が出来るよう対処していく。

当振興会独自の研修については、出来るだけ時々の重点的なテーマを取り上げ、日常の業務遂行や市民生活に役立つよう寄与していきます。

## 2. 安定的な法人運営に向けた取り組み

### (1) 介護支援専門員の研修制度改定への対応

介護支援専門員の資質向上を図り、ケアマネジメントの質を向上させるために、介護支援専門員に係る研修体系が平成28年度から大幅に改正されました。

本改正は、要介護者等が、介護だけでなく医療や生活支援等が一体的に提供されることにより、地域において自立した日常生活を営むことができるよう、介護支援専門員の資質向上を図るためであり、内容変更による時間数のアップ、研修課程の新設等大幅な変更になっています。

特に、当振興会が愛知県の指定を受けて行う法定研修の主任介護支援専門員更新研修については、大幅な受講者増が見込まれるため、行政庁（愛知県）の指導のもと、愛知県社会福祉協議会との連携強化を図りながら、平成27年度に組織化した「主任介護支援専門員更新研修推進委員会」を軸に指導者養成伝達研修やファシリテータ研修会等を開催してスムーズな対応ができるよう対処する。

### (2) 運営基盤の強化と公益財団法人としての適正な運営

運営基盤の基本は会員であり、賛助会員並びに個人会員の増強は必須である。

賛助会員並びに個人会員のニーズ等を一層事業に反映させ、参画メリットがより感じられる事業展開を試みるとともに、広報ツールである振興会パンフレットを策定する等、工夫を凝らして会員増強に努め、少なくとも減少することが無いよう対処する。

一方、公益法人としての適正な運営は課せられた使命であり、定款や諸規程に基づく忠実な事業・事務運営を心掛ける。

### (3) 関連団体等への支援や連携強化

- ・愛知県介護支援専門員協会の運営
- ・愛知県社会福祉協議会との連携強化
- ・名古屋市社会福祉協議会との連携強化
- ・その他

## Ⅲ 具体的推進策

### I 高齢者福祉増進事業の展開（公益目的事業—I 予算額：6,497千円）

#### 1 主旨

本事業では、元気な高齢者を対象とした取組として、高齢者が充実した生活を送るための生きがいと健康づくりのための各事業を実施し、そのためのネットワークづくりとして社会参加活動を積極的に推進して普及啓発を図る。

また、5年目を迎えるなんでも相談窓口を一層充実したものとして、一般市民が気軽に相談しながら、明るく活力ある充実した実年ライフが実現するよう支援していくこととする。

特に今年度は新しい事業として、社会問題化している介護離職問題に対して賛助会員企業や福祉関係事業所等を対象に社会福祉協議会等と連携して企業の介護離職問題の解決支援に寄与していくこととする。

#### 2 事業の概要

##### (1) 情報誌「マリーゴールド」の発行事業（予算額：2,329千円）

当振興会では、平成3年設立以来、明るい長寿社会づくりへの市民理解の啓発と高齢者やその家族に対し、生きがいや健康づくりに関する情報提供を、機関紙「マリーゴールド」会報や振興会ホームページを介して行っています。

特に、今年度は当振興会が推進しているさまざまな事業に加え、マリーゴールド倶楽部会員並びに賛助会員の最新情報を紹介して、事業の一層の広がりや地域市民への理解・浸透を図っていくこととする。

##### (主な掲載項目)

- ・行政（愛知県及び名古屋市）から高齢者向けのお知らせ事項
- ・高齢者向けの生活関連情報（住居・健康・暮らし・芸能・資産・活動等）
- ・各種イベント（教養講座、史跡巡りツアー、健康と体力アップ教室、高齢者関連施設見学会等）の案内
- ・当地区の各種催しもの案内
- ・賛助会員とマリーゴールド会員等の情報
- ・シルバーサービス振興会日より
- ・各種高齢者向け優待（旅行、百貨店、娯楽施設等）の案内

##### (発行回数)

年4回（4月、7月、10月、1月） 各1,000部

##### (配布先)

- ・個人会員組織（マリーゴールド倶楽部会員）、賛助会員及び一般県民の希望者

- ・ 行政機関（愛知県、名古屋市、愛知県下自治体や社協、図書館、美術館等）
- ・ 高齢者関連組織（愛知県及び名古屋市老人クラブ連合会等）
- ・ 全国のシルバーサービス振興組織
- ・ その他

（事業の対象）

- ・ 個人会員組織（マリーゴールド倶楽部）、賛助会員及び一般県民のうち希望者

（事業実施の財源）

- ・ 会費、自主財源及び協賛金

## （2）イベント事業（予算額：2,819千円）

高齢者に対して、以下のような行事を企画して幅広く参加を呼びかけ、生きがいと活力ある生活を支援する。

### ① 教養講座

原則、月1回の開催で文化、生活、健康、金融、その他幅広い分野の講師を招聘して講演会や交流会を実施し、生きがいと活力ある生活を支援する。

（平成28年度の例）

- \* 4月 「歌舞伎演出の裏側 脇役の活躍」講演
- \* 5月 「薪御能」見学会
- \* 6月 「核融合科学研究所・瑞浪超新地層研究所」見学会
- \* 7月 名古屋がスト美術館「ルノワールの時代」鑑賞
- \* 8月 「ミツカンミュージアムMIM」見学
- \* 9月 「桶狭間の戦い」ガイドツアー付散策
- \* 10月 「高齢者の消費者トラブル未然防止について」講演
- \* 11月 名古屋がスト美術館「俺たちの国芳 わたしの国貞」鑑賞
- \* 12月 「防災・減災お役立ちガイド」講演
- \* 1月 「骨・カルシウムセミナー」講演
- \* 2月 「名古屋城本丸御殿復元始め名古屋城の整備状況について」講演
- \* 3月 「家族に迷惑をかけない締め括り方」講演

### ② バスツアー

原則、バスを使つての日帰りツアーで、見る、食べる、経験する等のテーマをもって企画する。 年3回を予定

### ③ 健康と体力アップ教室

- \* ゴルフコンペ 年2回程度を予定
- \* ハイキングや散策会（教養講座との併行開催もあり） 年2回程度を予定

## （3）高齢者の生きがいづくりと相談事業（予算額：1,349千円）

ますます高齢化率が上昇する中、高齢者自身の活力を維持・増進することはもとより、生きがいをもって積極的に社会に参加することができるように多様な生きがい、健康づくりの場や機会を構築する。

① 高齢者関連施設・福祉用具ショップ見学会と学習会

介護保険制度の理解と、介護施設や福祉用具について必要な知識を習得する機会を提供する。

年3回程度の頻度で賛助会員事業所等の介護老人保健施設や福祉用具ショップ、介護食や福祉用具メーカー等を訪問し、高齢者やその家族等に介護の現場を理解してもらおうとともに、介護保険制度などに関する学習会を併せ実施する。

(主な見学予定の介護保険適用並びに非適用施設等)

- ・特別養護老人ホーム
- ・地域密着型介護老人福祉施設
- ・介護老人保健施設
- ・介護付有料老人ホーム
- ・グループホーム
- ・健康型有料老人ホーム
- ・住宅型有料老人ホーム
- ・なごや福祉用具プラザ
- ・その他福祉用具専門店
- ・福祉用具製造業者
- ・介護食製造業者
- ・その他

(開催時期等)

- ・年3回程度(7, 9, 11月を予定)

② 展示会・フェアへの参画及び会員企業・団体との連携

ア. 県民等を対象とした事業への後援・協賛

高齢者の仲間づくりや交流を支援するため、県内で開催される行政機関、市民活動団体、関連団体、学会等が主催する各種事業に後援や協賛を行うとともに積極的に参加し、意見交換を行ってネットワークづくりに心がけるとともに、当振興会の活動を紹介していきます。

(主な事業への後援・協賛先)

- ・あいち次世代ロボットフェスタ(主催:愛知県)
- ・あいち住まいるフェア2017(主催:愛知ゆとりある住まい推進協議会他)
- ・生き生き長寿フェア(主催:愛知県、愛知県社会福祉協議会)
- ・国際福祉健康産業展(主催:名古屋国際見本市委員会)
- ・ソーシャルワーカー学会(主催:愛知県医療ソーシャルワーカー協会)
- ・脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会
- ・長寿社会フォーラム(主催:愛知医科大学、日本福祉大学)
- ・第16回日本ケアマネジメント学会研究大会
- ・介護の日(主催:愛知県)
- ・その他

#### イ. 会員企業・関係団体との連携

会員企業・団体のサービス・商品等から、高齢者の生きがいに資する情報を、当振興会ホームページや広報誌等を活用して広報・啓発を行うとともに利用しやすい企画を構築する。

(見込まれる情報)

- ・介護食をはじめとする食品情報
- ・薬や健康、医療にまつわる情報
- ・福祉用具に関する情報
- ・施設や各種サービス情報
- ・催しもの等の娯楽情報
- ・介護サービス全般に亘る情報
- ・相続や終活に纏わる情報 他

#### ③ 高齢者福祉相談事業

誰もが人生で一度は直面する高齢者特有の介護や福祉面の諸問題に市民が気軽に相談できる場を民間の立場から提供して福祉の増進に寄与する事業です。

高齢者をはじめ一般市民が安心して活力ある生活が出来るよう支援していきます。

なお、当事業は事業開始後5年目を迎えますが、市民への情報提供活動を一層活発化して、事業の充実化を図っていきます。

[事業概要]

(受ける相談の範囲)

介護保険にまつわる全般とし、その他の案件については質問案件の照会先を伝達するかたちで運用する。

(相談日)

月2回(第1と第3水曜日) 13:00~16:00

(相談方法)

電話、来所、文書

(講師)

地域包括支援センター等に勤務する主任介護支援専門員等

#### ④ 介護離職問題解決支援事業

新規事業

40代から50代の働き盛りで企業の中核を担う労働者が、突発的に親の介護が原因で退職せざるを得ないケースが多く発生し社会問題化している。

こうした状況を踏まえ当振興会では、愛知県、名古屋市、愛知県社会福祉協議会等と連携して介護離職問題解決支援のサポートを行っていく。

具体的には、賛助会員企業や関係福祉系事業所等における介護離職問題に関する情報収集を行い、広報啓発や出張講座等を検討していく。

## Ⅱ 福祉向上支援事業の展開（公益目的事業Ⅱ 予算額：47,336千円）

### 1 主 旨

平成12年度介護保険制度施行後、介護を要する高齢者やその家族等の介護の質の向上のために介護現場の従業者等を対象とした研修の機会と内容の充実が求められている。

また、現に介護をしている家族や、近い将来のことを考えて、介護にまつわる勉強をし、さらには介護関係の資格取得を目指したいという人も増えてきています。

当振興会では、このような人を対象に愛知県から指定を受けて、各種の研修を行い、また、特に民間企業の方々の研修も少ないことから、介護の質の向上を目指して、シルバーサービスの振興、健全育成のため振興会独自の研修を企画する。

### 2. 内 容

#### (1) 主任介護支援専門員研修（予算額：10,813千円）

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導等ケアマネジメントが適切且つ円滑に供給されるために必要な業務に関する知識及び技術の習得をするとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを实践できる主任介護支援専門員の養成を図ることを目的として実施する。

##### ① 対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験（5年以上）を有する介護支援専門員

##### ② 受講予定者数

210名（平成28年度修了者数：285名）

##### ③ 実施予定時期

5月～8月

##### ④ 日数・時間

12日間で70時間

##### ⑤ 財 源

全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施

受講料：55,000円（平成28年度受講料：55,000円）

##### ⑥ 指 定

愛知県の研修機関として指定

#### (2) 主任介護支援専門員更新研修事業（予算額：26,475千円）

主任介護支援専門員に対して、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期限の更新時に併せて、研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果して行くために必要な能力の保持・向上を図ることを目的として実施する。

なお、本研修は主任介護支援専門員が継続的に知識・技術等の向上に努めているかを確認し、さらなる資質向上を図ることが重要であるとし、新たに28年度から新設されたもの。

- ① 対象者  
平成18年度から25年度までの主任介護支援専門員研修修了者
- ② 受講予定者数  
510名
- ③ 実施予定時期  
8月～12月
- ④ 日数・時間  
8日間で46時間
- ⑤ 財 源  
全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施  
受講料：53,000円（平成28年度受講料：53,000円）
- ⑥ 指 定  
愛知県の研修機関として指定

(3) 介護支援専門員実務研修受講試験受験準備研修事業（予算額：908千円）

当振興会独自の研修事業

介護支援専門員の資格取得を支援する講座で、カリキュラムは前年度の試験を踏まえた傾向と対策、模擬試験等を組み入れて実施する。

講師は、主任介護支援専門員研修や愛知県介護支援専門員協会理事を中心に構成し具体的事例に基づいて高い専門的且つ実践的な研修企画を図っていくこととする。

- ① 対象者  
介護支援専門員実務研修受講試験の受験資格を有する者
- ② 受講予定者数  
50名（平成28年度受講者数：32名）
- ③ 実施予定時期  
9月
- ④ 日数・時間  
3日で15時間
- ⑤ 財 源  
全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施  
受講料：9,500円～22,500円（コースによって差があり）  
（平成28年度受講料：9,500円～22,000円）
- ⑥ 指 定  
指定なし

(4) 福祉用具供給事業従事者研修会事業（予算額：2,011千円）

（主催）当振興会

（共催）一般社団法人日本福祉用具供給協会 東海北陸支部

（後援）一般社団法人シルバーサービス振興会

高齢者の増大且つ多様化するニーズに対応した適切な福祉用具等を提供するため



に必要な知識、技能を有する従事者を養成し、もって高齢者の自立の促進及び介護者の負担の軽減を図ること及び介護保険制度の円滑な運営に資するため、必要な知識、技能を有する者の養成を目的に実施する。

- ① 対象者  
福祉用具の販売、貸与に携っている者
- ② 受講予定者数  
20名（平成28年度受講者数：15名）
- ③ 実施予定時期  
5月
- ④ 日数・時間  
7日間で50時間
- ⑤ 財 源  
全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施  
受講料：45,000円（平成28年度受講料：45,000円）
- ⑥ 指 定  
福祉用具専門相談員指定講習会として愛知県の指定

(5) 住宅改修研修事業（予算額：808千円）

（一社）シルバーサービス振興会との共催研修事業

住宅改修や福祉用具の販売・貸与に関しては、要介護高齢者へ適切な助言や支援を行うための知識や技術を身につけることが必要であり、住宅改修制度や福祉用具の機能等の知識と福祉用具の設置、操作等の実技両面を研修に取り入れて習得を目指す。

- ① 対象者  
介護支援専門員、住宅改修、福祉用具の販売・貸与に携っている者
- ② 受講予定者数  
30名（平成28年度受講者数：33名）
- ③ 実施予定時期  
9月
- ④ 日数・時間  
3日間で18時間
- ⑤ 財 源  
全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施  
受講料：18,500円（平成28年度受講料：18,500円）
- ⑥ 指 定  
指定なし

(6) 施設ケアマネジメント研修会事業（予算額：1,302千円）

当振興会独自の研修事業

介護施設への入所希望者が増大している反面、施設に配属されている介護支援専

門員は居宅の介護支援専門員に比べて、組織内の位置づけや業務内容が明確でないため、本研修では、施設に勤務する介護支援専門員の役割、方向性を明確にするるとともに、施設ケアマネジメントのあり方について研修する。

なお、今年度は内容（カリキュラム等）を変更して実施する予定。

① 対象者

施設に従事する介護支援専門員

② 受講予定者数

80名（平成28年度受講者数：55名）

③ 実施予定時期

6月～7月

④ 日数・時間

2日間で12時間

⑤ 財 源

全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施

受講料：10,000円（平成28年度受講料：10,000円）

⑥ 指 定

指定なし

(7) 認知症の理解とケア研修会事業（予算額：1,022千円）

当振興会独自の研修事業

① 対象者

高齢者介護サービス事業従事者及び介護支援専門員

② 受講予定者数

120名（平成28年度受講者数：135名）

③ 実施予定時期

11月～12月

④ 日数・時間

2日間で12時間

⑤ 財 源

全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施

受講料：10,000円（平成28年度受講料：10,000円）

⑥ 指 定

指定なし

(8) ターミナルケア研修会事業（予算額：962千円）

当振興会独自の研修事業

本人や家族が納得のできる最期を迎えられるためには、支える専門職が「死」を肯定的に受け止める必要があり、本人や家族とどのような最期にしたいのかの意思を共有するなど、日頃からの深いかかわりとそれを可能にする高い専門性や充実したケアの提供が重要となります。

当研修会は、ターミナルケアに必要な基本的事項を学ぶとともに、シンポジウムやグループワーク等を通して本人や家族が望む最期を迎えるためには、何が必要かを考え、より良いターミナルケアの取り組みを進めることを目的として実施する。

① 対象者

高齢者介護サービス事業従事者

② 受講予定者数

80名（平成28年度受講者数：78名）

③ 実施予定時期

12月～1月

④ 日数・時間

2日間で10時間

⑤ 財源

全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施

受講料：10,000円（平成28年度受講料：10,000円）

⑥ 指定

指定なし

(9) 高齢者介護のための医学・薬学基礎研修事業（予算額：881千円）

当振興会独自の研修事業

介護サービスに携わる者は、より正しい医学・薬学知識が求められており、実際の現場では、その知識を現実の利用者の観察や症状に対して正しく活用することが非常に重要になっております。

利用者の的確な観察やアセスメントができれば、その人の安全や安心につながり、さらには介護事故を事前に防止することが可能になってきます。

本講座は、特に高齢者に多くみられる病気や症状と高齢者に対する薬について研修するものです。

① 対象者

高齢者介護サービス事業従事者

② 受講予定者数

115名（平成28年度受講者数：141名）

③ 実施予定時期

1月

④ 日数・時間

1日間で6時間

⑤ 財源

全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施

受講料：7,000円（平成28年度受講料：7,000円）

⑥ 指定

指定なし

(10) シルバー生き生きセミナー事業（予算額：2,151千円）

近時の高齢者福祉に関わる環境は目まぐるしく変化しており、今後は多様なニーズに対応すべく、「多品種少量生産」型の研修が必要と思われます。

平成27年度から新たに導入した研修スタイルでその時々話題性や関心事をテーマにして実施する。

〔平成28年度実績〕

- 事例に学ぶ苦情対策講座（受講者数：184名）
- 介護事業所における防災・非常災害対策講座（受講者数：118名）

① 対象者

一般市民及び高齢者介護サービス事業従事者

② 予定講座数

5講座

③ 受講予定者数

400名（1講座当たり：80名程度）

④ 実施予定時期

8月、10月、1月

⑤ 日数・時間

1日で1講座

1講座当たり：原則5時間

⑥ 財源

全費用をコストに見合った受講料を徴収して実施

受講料（1講座当たり）：5,000円（目途）

⑦ 指定

なし

### III 法人運営

#### 1 介護支援専門員の研修制度改定への対応

- (1) 行政庁と研修実施機関の愛知県社会福祉協議会及び当振興会との連絡会議
- (2) 「主任介護支援専門員更新研修推進委員会」及び「企画推進委員会」の開催
- (3) 指導者養成研修受講者（愛知県代表として参加した愛知県社会福祉協議会推薦の受講者も含む）による講師予定者を対象とした伝達研修（3回程度）

#### 2 運営基盤の強化

##### 会員数の増強

近時、会員数は、ほぼ横ばいの状態が続いていますが、振興会の確固たる基盤構築のためには一層の会員増強が必須である。

そのため、以下の方策を積極的にすすめて会員数の増強を図ることとする。

##### ① 賛助会員

〔目標会員数〕

70（現在数：69）

[方 策]

- ・ 会員ニーズを反映させた事業の展開による参画メリットの造出
- ・ 既会員及び当会関係者等への紹介要請
- ・ 他団体会員企業へのアプローチ
- ・ 振興会パンフレットの作成

② 個人会員（マリーゴールド倶楽部会員）

[目標会員数]

550名（現在数：534名）

[方 策]

- ・ 既会員及び当会関係者（研修講師、愛知県介護支援専門員協会員、出入業者等）等への紹介要請
- ・ 賛助会員企業への要請
- ・ 他団体会員企業へのアプローチ

3 公益法人としての適正運営

(1) 理事会、評議員会、部会の開催

定款の定めるところにより開催します

① 理事会

- ・ 定時理事会 定款第42条第2項により6月及び3月を予定
- ・ 臨時理事会 定款42条第3項に該当する場合、その他必要に応じて随時開催

② 評議員会

- ・ 定時評議員会 定款第21条第2項により6月を予定
- ・ 臨時評議員会 定款第21条第3項により3月を予定、その他必要に応じて随時開催

③ 部会

- ・ 運営部会 定時及び臨時の理事会、評議員会の開催に併せて実施

(2) 職員や講師候補者等を各種研修会等の場へ参加させ、介護・福祉関係能力の向上に努める。

(3) 内部規程等の周知と理解に努める。

4 介護関連事業者・従事者支援

以下の団体の事務局の運営を継続的に受託

- ・ 愛知県介護支援専門員協会

5. 各種団体や事業者等との連携強化

- ・ 愛知県、名古屋市をはじめとする県下市町村及び福祉系諸団体
- ・ 他県シルバーサービス振興組織との情報交換・連携  
平成29年度はシルバーサービス振興連絡協議会の全国大会として研修会並びに会議の当地開催を主催

- ・会員企業、団体等が実施する事業について、当振興会が共催、後援、連携、協働することにより効果的な事業実施が可能となる様支援。